

異文化コラボレーション論文特集の発行にあたって



異文化コラボレーション論文特集編集委員会

委員長 片桐 恭弘

インターネットの世界的な普及に伴い、協調作業のグローバル化が急速に進んでいる。このように国を跨いだ世界的な協調作業が年々増加しているにもかかわらず、世の中で用いられている情報技術システムの大半は単一言語や単一文化内での協調作業を念頭に置き、異言語や異文化間の協調作業を想定したものはほとんどない。情報通信技術は、世界中の人々をハードウェア的につないだとはいっても、いまだソフトウェア的にはつなげていないのが現状である。このような背景のもと、近年になって多言語・多文化環境における協調作業の円滑化を目指した研究が増加してきた。特に、言語や文化的な差異に焦点を当てたコラボレーションのモデル、技術、応用、評価手法に関する研究が活発化しており、自然言語処理や社会心理学といった様々な研究分野を巻き込んで急速に広まりつつある。以上のような研究の高まりを受けて「異文化コラボレーション論文特集」を企画した。

採録された論文は、医療や留学生教育など具体的な異文化コラボレーション場面で利用される応用システムの提案、異文化コラボレーション活動のための人間-機械協調翻訳方式の提案、現実の異文化コラボレーション場面の分析など多岐にわたっている。応用から基礎まで異文化コラボレーション研究の現状を概観するのに良い特集となったと考えている。一方、現状では機械翻訳を中核とした「異言語」コラボレーション支援が中心トピックとなっていることも明らかとなった。今後は更に「異文化」コラボレーションの広い側面を情報技術を利用して支援する研究が活発となることを期待している。

かたぎり やすひろ
片桐 恭弘 1981東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻了。工博。NTT基礎研究所、ATRメディア情報科学研究所を経て現在公立はこだて未来大学教授。異文化コラボレーション研究会主査。

異文化コラボレーション論文特集編集委員会

委員長	片桐 恭弘
副委員長	吉野 孝
幹事	中村 素典・山下 直美
編集委員	井佐原 均・石田 亨・潮田 明・岡田 謙一
	喜多 千草・北村 泰彦・葛岡 英明・中西 英之
	林 良彦・菱山 玲子・美濃 導彦・宗森 純